

入力量【最大消費熱量】の換算表

設備	換算式等					
電気設備	入力量【最大消費熱量】(kW)=電力消費量(kW/h)					
固体・液体・気体燃料を熱源とする設備	①入力量【最大消費熱量】(kW)=燃料種別による低発熱量(kJ/kg)×1時間当たりの燃料消費量(kg/h)×1/3,600					
	②入力量【最大消費熱量】(kW)=燃料種別による低発熱量(kJ/ℓ)×1時間当たりの燃料消費量(ℓ/h)×1/3,600					
	③入力量【最大消費熱量】(kW)=燃料種別による低発熱量(kJ/N m³)×1時間当たりの燃料消費量(m³/h)×1/3,600					
		燃料種別	低発熱量(kJ/kg)	低発熱量(kJ/ℓ)	低発熱量(kJ/N m³)	
	固体	薪	18,800			
		木炭	33,500			
		石炭	31,400			
	液体	灯油	43,100	34,500		
		軽油	42,700	35,200		
		重油	A 重油	42,300	37,300	
			B 重油	41,400	38,100	
			C 重油	40,600	38,200	
	気体	メタン	1 2 A		41,900	
1 3 A				46,000		
プロパン				101,700		
ブタン				134,000		
その他	①入力量【最大消費熱量】(kW)=入力量【最大消費熱量】(kcal/h)×1/860					
②入力量【最大消費熱量】(kW)=入力量【最大消費熱量】(kJ/h)×1/3,600						
③消費量を求めることができない焼却炉等は、炉内容積1 m³当たり、232.5kWとして換算する。						

※ 1kW=860 kcal/h=3,600 kJ/h とする。

火気使用設備の燃焼に必要な空気の換算表

給気方法	換算式等	
開口部 (ガラリ)	燃焼に必要な空気の取入口面積(cm ²)=火気設備の入力量【最大消費熱量】(kW)×燃料種別に応じた数値×1/ガラリ等の開口率	
	燃料種別	燃料種別に応じた数値
	固体	11.18
	液体	9.46
	気体	8.6
	ガラリの種類	
	スチールガラリ	0.5
	木製ガラリ	0.4
	パンチングパネル	0.3
	※ ガラリ等を使用しない場合は、開口率を 1.0 とする。 ※ 仕様書等でガラリの開口率が分かるものは、その開口率で換算する。 ※ 開口部による燃焼空気取入口の必要面積が 200 cm ² 未満となる場合は、200 cm ² 以上とする。	
給気ファン	燃焼に必要な空気量(m ³ /h)=火気設備の入力量【最大消費熱量】(kW)×燃料種別に応じた数値	
	燃料種別	燃料種別に応じた数値
	固体	1.892
	液体	1.204
	気体	1.204

- ※ 空気取入口は、原則、直接屋外に通じていること。また、床面近くに設け、空気が直接炉の燃焼室に引き込まない位置とすること。
- ※ 有効な換気を行う為の排気口は、天井近くに設け直接屋外に通じており、大きさは空気取入口と同等以上とし少なくとも 200 cm²以上とすること。
また、排気を換気扇等による強制排気とした場合は、室内圧が負圧になり不完全燃焼の原因となるため、原則、自然排気口とすること。